

外部講師招き 地域産業学ぶ

中央小5年生60人

【岩見沢】中央小で26日、5年生60人が外部講師から地域の産業について学ぶ総合的な学習の授業が参観日に合わせて行われた。同校の校舎を建てた建設業者や、給食用パンを供給する事業者の話を聞き、多くの人の支えで生活が成り立っていることを実感した。

初めに、2018年

度に完成した同校の新校舎を建設した松浦建設の社員が講演。校舎のほか岩見沢の産業や気候、文化についても説明し「岩見沢のいいところをどんどん見つけて発信して」と期待をした。児童から「学校を建てる時にこだわった点は」など活発に質問が出た。

続いて、市内のパン

店14店舗で構成し、市から給食用パンの委託を受ける岩見沢パン協会
議会の事務局でエミヲラスロボの栗林千奈美さんと瀬尾悦郎さん



5年生60人が地域の産業について学んだ授業

人気パン店「ベーカリーカンスケ」の山本吉信代表が、地場産小麦キタノカオリの魅力やおいしいパンを作る工夫を紹介した。

児童の宮崎遥羽さんは「校舎に多くの費用がかかっていると知って勉強になった」、片山翔くんは「岩見沢で作られたパンが東京や札幌でも販売されていると知って驚いた」と話した。5年生は今後学習成果をまとめた動画を作り全校児童や保護者、市民に発信する予定。【末永直樹】